

福祉医療事業

第5次総合計画の実現めざして 新年度予算がスタート

乳幼児医療無料化 小学校3年生まで拡大など

2億5,567万円

3月定例会は、3月2日に招集され、3月27日までの26日間の会期で開催されました。

定例会初日は、町長が新年度予算の概要と施政方針「住みよいまち、住みたくなるまち幸田、将来の発展と安心の創造をめざして」と、町政の基本的な考え方を表明しました。

19年度9会計の当初予算をはじめ、18年度補正予算、幸田町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正など、37件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

その他、陳情3件を審議しましたが、3件とも不採択としました。

議員提出議案として、議会委員会条例の一部改正など、2件が提出され可決しました。

19年度予算審議は予算特別委員会を設置して、2日間かけ集中審議し、すべて可決しました。

一般質問では、6議員が町政全般にわたって厳しく問いただしました。

◎安全・安心な都市基盤

◎環境と調和

◎多様な産業振興

◎健全な行財政・行革

◎地域文化・人づくり・教育

◎健康・福祉



わが子の成長を願う

予算の概要

セーフティステーションを 鷺田地区に設置

安全・安心
対策

予算の規模は、一般会計と特別会計など合わせて、213億6264万円で、平成18年度当初予算に比べ6.1%増となりました。

一般会計は、総額123億9650万円で、前年度に比べ6.5%増額、特別会計は土地取得、農業集落排水事業が減額、その他の会計は増額となりました。

なお、今年度から、通所介護サービスがなくなり、幸田駅前土地区画整理事業が新設されました。

歳入

町税は定率減税の廃止、税源移譲の本格化などによる町民税増、自動車関連企業などの業績好調の維持、タバコ税増などを見込み、前年度比7.8%増の88億68

20万円が計上されました。

地方譲与税は「三位一体の改革」で廃止となり1億5000万円減、自動車重量譲与税などは前年度同額と見込み、国庫支出金は児童手当の3歳未満児へ5000円加算ならびに、支給対象者の増などにより、5億6657万円で3.8%増となりました。

町債は幸田中央公園整備事業用地買戻しのため、1億円が計上されました。

歳出

普通建設事業の主なものは、セーフティステーション設置、幸田駅エレベーター等設置、コミュニティホーム建設補助、学校校舎耐震補強工事、学校校舎大規模工事、大日蔭運動場用地購入など、総額23億535万円となりました。

主な歳出費用

総務費

- ・セーフティステーション建設工事 1100万円
- ・幸田駅バリアフリー対応負担金 5700万円

民生費

- ・後期高齢者医療事業 6009万円
- ・乳幼児医療費無料化拡大小学校3年生まで 1億5096万円
- ・福祉巡回バス2台更新 1400万円
- ・児童手当3歳未満一律1万円 1億1040万円

衛生費

- ・ISO14001認証取得委託料 157万円
- ・墓園整備構想委託料 200万円

農林水産業費

- ・ふれあい農園開設 22万円

土木費

- ・農村振興総合整備事業 2億8000万円
- ・道路新設改良事業 1億4327万円
- ・幸田駅前土地区画整理特別会計繰出事業 1億2351万円
- ・(仮)相見駅周辺開発整備事業 2億6135万円

消防費

- ・災害対策一般事業 3176万円

教育費

- ・幸田小学校整備事業 503万円
- ・給食センター整備事業 1015万円

公債費

- ・町債元金償還事業 9億2507万円

■19年度各会計の予算額

(▲は減)

会計名		予算額	前年度比(%)	採決の状況
一般会計		123億9,650万円	6.5	反対2・賛成19で可決
特別会計	土地取得特別会計	4億5,036万円	▲9.5	全員賛成で可決
	国民健康保険特別会計	26億4,298万円	6.8	反対2・賛成19で可決
	老人保健特別会計	19億5,653万円	0	反対2・賛成19で可決
	介護保険特別会計	11億1,194万円	3.5	反対2・賛成19で可決
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	2億5,196万円	皆増	全員賛成で可決
	農業集落排水事業特別会計	3億6,734万円	▲2.8	反対2・賛成19で可決
企業会計	下水道事業特別会計	9億9,134万円	▲8.0	反対2・賛成19で可決
	水道事業会計	6億8,770万円	6.5	反対2・賛成19で可決
	収益的支出	5億599万円	32.2	
合計		213億6,264万円	6.1	

徹底検証 どう活かす

123億9,650万円

予算特別委員会

町税8.7%の増収

88億6,820万円

—— 新年度予算審議から ——

19年度予算案は、予算特別委員会に付託され、2日間にわたり慎重審議の結果可決しました。

ごみ袋(小)の新設を

Q ごみ袋が高すぎる。引き下げを考えているか。

A ごみ処理場のない事情を理解してほしい。値上げはごみ減量化の啓発と処理費の補てんにあてる。

Q 分別意識が徹底され、生ごみ量が減少してきているので、ごみ袋(18ℓ)の新設を。

A 早急に実施したい。

Q 可燃ごみ収集業者は、なぜ一社なのか。

A 他に適切な業者がないと判断している。

図書館に授乳室を

Q 新年度から図書館の利用時間が増えるが、授乳室はできるか。

A 2人分を新設する。

Q 4月22日に行われる全国学力一斉テストは学校間および個人の競争に拍車をかけないか。

A 知識、学力を知ることが必要なこと。学習手段も検証できる。



小さい袋が欲しい

乳幼児医療費は 小学3年まで無料

Q 無料化になる対象者数は。

A 対象者は約1140人。
Q 児童手当の乳幼児加算の拡大はどれだけか。

A 第1子・第2子3歳未満児に5000円を加算。
Q 幸田保育園駐車場の舗装を透水性にする考えは。

A 普通舗装でおこなう。
Q 放課後子ども教室はいつから実施するか。

A 19年度中に実施。対象は6年生まで。
Q 住民広場の剪定は地元管理か。

A 大木以外は地元管理で。
Q 小学校に設置されるAEDはどのようなものか。

A 各小学校に設置するが小児用パットを用いたもの。
Q 夏場は暑いので、教室に扇風機の設置を。

A 幸田中は一部に平成18年度取りつけた。今年度予算では考えていない。
Q 文化財保護事業で本光寺の「日晷屏風」を修理したと聞か。

A 3点の掛軸の寄託を受けた。10年間町の所蔵品として取扱っていく。
Q 文化財の取扱いは所在を明確にすべきであり、なぜ、寄贈にならなかったか。

A 幸田町で寄託をお願いし、契約書をお願している。
Q なぜ、巡回バスは小型化するのか。

巡回バスは中型から マイクロに変更



中央のバスと同型に更新される

A 利用者が少なく、地域の中にまで入るには小型車が適していると判断。
Q シルバークーの利用を考えると欲しい。

A シルバークーの積載は大型化となる。バス利用は色々なケースがあり、少しずつ改善していききたい。
Q 中学2年生の体験学習は子どもに良い刺激と

なっている。農業体験をPRして頂きたい。
A PRしていく。
Q 墓地公園構想は。

A 年内に候補地を決定し来年度建設の方向でいく。
Q 賛成

反対

丸山千代子議員

三位一体改革による税源移譲、定率減税廃止の影響は1万7377人におよび、住民税増税は国保税、介護保険料、さらに保育料の負担増で住民生活を圧迫する。大企業に適正課税の実施で自主財源を確保すべきである。

住民を戦時体制にまきこむ国民保護計画。75歳以上の後期高齢者医療による負担増。農家切り捨ての品目横断的経営安定対策。学校の序列化、競争に追いつける全国一斉学力テスト参加など、住民のくらし、福祉、教育が脅かされている。国の悪政の防波堤となり地方自治を守るべきと主張し反対するものである。

賛成

杉浦 務議員

町民の願う住み良いまち、住みたくなるまち、安全で安心して住めるまち幸田の実現に向けた積極的な予算を評価する。歳入では町税総額88億6820万円、前年対比8.7%増を見込まれた。

歳出では、学校・集会施設の耐震工事、セーフティステーションの設置、幸田駅前再開発、新駅の誘致、道の駅実施設計、ふれあい農園の開設、小学校3年まで医療費無料化、小学校の増築設計・大規模改造等各般にわたるバランス良く、前向きな政策がおり込まれており、賛成の立場を明確にする。



条例改正

3月議会では、乳幼児医療費の助成の条例改正を含む18議案を審議し可決しました。
主なものをお知らせします。



今日から1年生

**4月1日から
小学校3年生まで
医療費が無料に**

助成の対象を「未就学児」から「小学校3年生まで」に拡大します。
(全員賛成で可決)

**消防職員の
特殊勤務手当を
改正**

消防職員に支給する特殊勤務手当が、給料の二重払いであると改善を受け、月額支給から出勤回数支払いに改めます。

Q 月額支給から回数支給になる影響は。

A 現在46名に支給しているが、36名が減額の対象になり、日勤者は年間3万3000円の減額になる。

Q 年間、どのくらいの影響額か。

A 全体で71万円ほど減額になる。
(全員賛成で可決)

**心身障害者
医療費
通院も助成**

Q 対象者、該当件数、年間から実施します。

精神障害者の入院外の医療費を全疾病助成し、10月1日から実施します。

Q 間の見込額は。

A 72人が対象になり、年間1800件、648万円を見込んでいる。
(全員賛成で可決)

■入院外に関する医療費

	改正後		改正前	
	自立支援医療（精神通院医療）		自立支援医療（精神通院医療）	
	1・2級手帳保持者	1・2級手帳なし	1・2級手帳保持者	1・2級手帳なし
精神疾患	○	○	○	○
精神疾患以外	○	×	×	×

○=助成対象 X=助成対象外

**国民健康保険
税条例の
改正**

介護納付金課税額の限度額を、8万円から9万円に引き上げます。

Q なぜ限度額を引き上げるのか。

A 介護保険の利用者が増え、伸び率が160%になった。不足分を引き上げる。

Q 加入者の影響世帯数は。

A 178世帯で、150万円の増収を見込む。
(反対2賛成19で可決)

議員提出議案

**幸田町議会
委員会条例
の一部改正**

**幸田町議会
会議規則の
一部改正**

議員定数が16人になり、常任委員会の委員定数、所管等の変更をおこなう。
(全員賛成で可決)

委員会が、議案を提出する時の規則を定め、議会運営を円滑におこなう必要がある。
(全員賛成で可決)

**監査委員に
鴨下登さんを選任**



任期満了にともない、鴨下登さん（大草）の選任が提案され、これに同意しました。

平成18年度 最終補正予算

会計年度も終わりに近づき、予算の追加や減額など一般会計、特別会計合わせて10議案が上程されました。

一般会計の歳入は、町税3億円、繰入金1700万円、諸収入900万円の増額のほか、国・県支出金の増減がおこなわれました。歳出では、放課後児童対策事業130万円、市場公民館屋上防水工事360万円、都市施設整備基金積立金1億110万円、財政調整基金積立金2億8119万円の増額、道の駅造成工事費3000万円、私立幼稚園就園奨励費補助金500万円、学校給食費委託料800万円等の減額など、各事業の最終見込みによる調整がおこなわれ、特別会計への繰り入れ、繰り出しが主なものとなりました。特別会計では、土地取得会計の土地売却収入1714万円の増額、介護保険会計保健給付費4075万円、下水道事業会計事業費945万円の減額などがおこなわれました。水道事業会計は、収益的収入・支出の増額補正となりました。各会計とも、予算の調整が主なものであり、いずれも原案どおり可決しました。

審議された他の議案

- 幸田町固定資産評価員の選任について
(反対2賛成19で同意)
- 平成18年度西三河二市五町交通災害共済組合決算認定について
(全員賛成で認定)
- 字の区域の変更について
(全員賛成で可決)
- 幸田町副町長定数条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員の給与に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員等の旅費支給条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 愛知県市町村職員退職手当組合同約の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部改正について
(反対2賛成19で可決)
- 幸田町手数料徴収条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町通所介護サービス事業特別会計設置に関する条例の廃止について
(全員賛成で可決)
- 蒲郡市幸田町衛生組合同約の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 町道路線の認定及び廃止について
(全員賛成で可決)

陳情

- 上下水道管敷設についての陳情書
(反対18賛成3で不採択)
- 「リハビリテーションの日数制限撤廃を求める意見書」の提出に関する陳情書
(反対17賛成4で不採択)
- トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書の提出について
(反対15賛成6で不採択)

18年度 3月補正

会計名		補正額	補正後の額	
一般会計		3億 462万円	124億2,635万円	
特別会計	土地取得会計	1,764万円	4億6,331万円	
	国民健康保険会計	▲ 7,670万円	25億1,774万円	
	介護保険会計	▲ 4,982万円	10億4,731万円	
	通所介護サービス会計	0円	1,180万円	
	幸田駅前土地区画会計	▲ 200万円	1億 239万円	
	農業集落排水事業会計	0円	3億7,907万円	
	下水道事業会計	▲ 945万円	10億7,591万円	
企業会計	水道事業会計	収益的収入	2,703万円	6億8,424万円
		収益的支出	367万円	6億4,938万円

幸田町・幸田相見特定土地区画整理組合および東海旅客鉄道株式会社（JR東海）と「新駅等設置の計画協議推進に関する覚書」を平成19年3月1日に締結。地質調査や駅舎の概略設計などの調査設計負担金をJR東海に支払うことになりました。
(反対2賛成19で可決)

（仮称）相見駅設置
調査設計負担金
5250万円の
補正予算

追加上程